



平成12年度 福岡市佐賀県人会総会
 平成12年7月1日(土) KKRホテル博多
 県人会創設50周年記念 特集号



地元・ふくおかにご恩返しを、ふるさと・さがに声援を、21世紀に貢献を。
 右より金子会長・山崎福岡市長・井本佐賀県知事・市町村代表・福岡市民代表によるテープカット

目 次

表紙 真昼の朝市 テープカット	
会長挨拶 金子宣嗣 佐賀県人会会長	2
祝辞 井本勇佐賀県知事 山崎広太郎福岡市長	3
真昼の朝市 フォトストーリー	4~13
真昼の朝市 景品等提供者・実行委員名簿	14
ふるさとの首長・ふるさと紹介 芦刈町 田中博昭町長	15
佐賀県だより 佐賀新聞社提供	16~17
最近の入会者名簿・編集デスク	18

41

2000.8

祝 創設五十周年



祝辞

山崎広太郎 福岡市長

福岡市佐賀県人会が創設五十周年を迎えられ、記念総会が盛大に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。
佐賀県と福岡市とは、ともに玄海灘に面し、千年以



祝辞

井本 勇 佐賀県知事

福岡市佐賀県人会の創設五十周年、誠にめでたうございます。心からお喜び申し上げます。
福岡市佐賀県人会は、昭

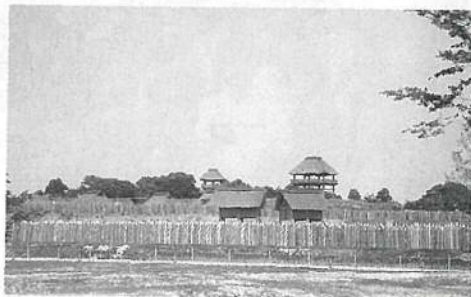
和二十六年に発足されて以来、関係者の御尽力により、今日では五三五名の会員が集う県人会として発展し、相互の親睦、情報交換の場として大きな役割を果たされております。
これもひとえに、歴代会長様をはじめ、会員の皆様のおかげで、御努力の賜物と心から敬意を表します。
また、日ごろから佐賀県

上の太古の時代から大陸への渡航地、大陸文化の窓口として栄えるなど、地理的、歴史的に緊密な関係にあります。
また、本市及び近郊在住の佐賀県出身者はおおよそ十五万人ともいわれ、各界各層の分野において活躍いただいておりますが、日頃より本市の発展のために多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

貴会におかれましては、佐賀県出身者の方々の親睦と繁栄に大きく貢献されていると存じておりますが、その歴史は古く、戦後から、毎年一回の大会開催が続けられ、本年度五十回目の節目を迎えられましたのも、この間、会の運営に携わられた関係各位のご苦労と団結力の賜物と深く敬意を表す次第であります。
さて、二〇〇〇年という新たな時代を迎えた今日、国内外の社会・経済情勢はかつてない変革の波に遭遇しており、市民生活を取り

勢の発展のため、何かとご配慮を賜り力強い御支援、御協力に厚くお礼を申し上げます。
さて、佐賀県では、「住みたい県日本一」の実現を目指して、各種施策に取り組んでおります。とりわけ、観光や情報発信の一大拠点として整備してまいりました、弥生時代最大規模の環壕集落跡として有名な吉野ヶ里遺跡は、吉野ヶ里歴史公園として、平成十三年のゴールデンウィーク前に第一期

開園を迎えます。
開園後の皆様の御来園を心からお待ち申し上げます。
県人会の皆様には、郷土佐賀の発展のために、今後ともお力添えを賜りますようお願いいたします。
最後に、福岡市佐賀県人会が創設五十周年を契機として、今後ますます発展されますことと金子会長様はじめ、会員皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。



巻く様々な問題は、もはや行政だけでの解決が困難な状況となっております。
これらの問題に的確に対応し、豊かな市民生活を実現するためには、地域や市民の皆様との知恵と力をお借りしながら協働していくことが必要不可欠なものとなつてきており、また、市民の皆様にも「自分たちの街は自分たちで創る」という自立と自治の意識を持つていただく必要があるかと思ひます。
さらに、それぞれの自治体が、創意工夫の中で個性

平成12年度

福岡市佐賀県人会総会

平成12年7月1日 KKRホテル博多



ご挨拶

会長 金子 宣嗣

50周年大きな節目に感謝

西暦2000年のこの年に、福岡市佐賀県人会が創設50周年を迎えることができました。これも諸先輩方の福岡における奮闘努力、ご活躍の賜物だと深く感謝申し上げます。また、私たちが温かく受け入れて下さり、ご指導ご鞭撻を賜った福岡市の皆さま方にも感謝申し上げます。

今日は、創設50周年という大きな節目を迎えた記念すべき県人会です。日頃の感謝に少しでも報いることができればと、工夫を凝らした記念イベントを用意いたしております。
催しに際しましては、

佐賀県観光連盟、佐賀新聞社、STSサガテレビの後援をはじめ、真昼の朝市にご出展いただきました市町村など各種団体のご協力を得まして開催できましたことを心より厚くお礼申し上げます。
また、本日は公務ご多忙にもかかわらず井本勇佐賀県知事、山崎広太郎福岡市長、山崎拓衆議院議員、今村雅弘衆議院議員、陣内孝雄参議院議員はじめ多数のご来賓の出席も賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

21世紀に向け緊密な関係

近年、ふるさと佐賀と福岡が政治、経済、文化などあらゆる分野で緊密な関係となつてまいりました。今後はこれまで以上に関係強化を必要とするパートナーとなることでしょう。両県のますますの繁栄と一体化を強く願う次第です。
来たる総選挙で森新内閣が発足、7月21日から沖縄サミットも開催されます。21世紀を前に世界のリーダーたちが地球環境の保全、戦争・紛争の防止、IT(情報技術)など人類共通の課題について議論、全世界にメッセージが発信されます。大いに期待したいものです。

ふるさと佐賀大いにPRを

サミットの開催地沖縄県もチャンスとばかり全世界にその存在をアピールしております。「ふるさと佐賀県」も福岡とともに積極的にPRしたいものです。佐賀県人も出る限りの応援をしたいと存じます。

今日は、50周年を皆さまとともに祝う意味で実行委員会のメンバーたちが手作りのイベントを用意しております。ふるさとへの懐かしい物産などと一緒に時間の許す限り楽しんでいただくことを願ひ挨拶とします。



『真昼の朝市』フォトストーリー

そして佐賀県人会の金子会長が加わり、テープカットです。
さて、いよいよ五十周年記念事業「真昼の朝市」の開店です。

エピローグ



福岡と佐賀の架け橋になる。

まだ残暑の厳しい昨年の九月なかばのある日の午後。
二人のオジサンがファミレスで「来年五十周年だけど、何かしようか。」と言うことから始まった今回の朝市。
場所はどこ？予算は？人は？……。
何回かの理事会を開き、実行委員会を作り、そしてまた会議。
サガテレビ・佐賀新聞社・佐賀県観光連盟の強力なバックアップがあり、又今回の趣旨に賛同して出店を快く引き受けて戴いた各市町村と業者の皆さんの協力があって、そして実行委員会の「思い」がひとつになって始まった「真昼の朝市」。
開催趣旨に、快くご出席をして戴いた、山崎福岡市長と井本佐賀県知事のおふたり。

小城市



産地直送

大和町



最近情報誌やテレビで取り上げられた「名尾の和紙」が一押しです。
ハガキ・封筒・名刺など利用法も様々です。



小城市と言えば、まず最初に思い出すのが羊羹。
テーブルには、ズラリと特産の「小城市羊羹」がならんでいます。
野点のお菓子として、たくさん羊羹を提供して戴きました。
紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。

浜玉町



名物「けいらん」や松葉漬・粕漬が山と積まれていましたが、それらいつの間にか、売り切れていました。
向こうのほうには、ペコニアの鉢も沢山ありました。

地元・ふくおかにご恩返しを、

ふるさと・さがに声援を、



21世紀に貢献を。



会場のKKR HOTEL HAKATA

感謝祭



ホテルの1階ロビーでは、会場を待つ市民の長蛇の列ができていました。

ご挨拶

実行委員長 山下廣人

福岡市佐賀県人会創設五十周年を西暦二千年と言う輝かしき節目の年に迎えることが出来ました。これを記念した「真昼の朝市」がお蔭様で大盛況のうちに開催出来ましたことを会員の皆様に報告できることを嬉しく思います。これもひとえに趣旨にご賛同戴きました佐賀県をはじめ各市町村、ご出展戴きました企業の皆様方のお力

添えによるものと、会員一同心より敬意と感謝の意を表するものでございます。本場にありがとうございます。また、記念事業を開催するにあたり、理事、会員、佐賀県福岡情報センター、STSサガテレビ、佐賀新聞社などの有志で実行委員会を組織化、メンバーの皆さまが「奉仕の精神」で寸暇を惜しまずにご協力いただきました。この実行委員会の精力的な行動が成功の大きな要因だったように思います。昨年より幾度となく企画会議を

行いましたが、お忙しいにも関わらず業務の合間をぬってご参加、ご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。前日の準備、そして記念総会当日には、早朝より遅くまでのお世話などたいへんご苦労をおかけしました。頭の下がる思いでいっぱいです。本場にお疲れ様でした。改めて感謝申し上げます。

育てて次ぎの世代に引き継いでまいることを願っています。
会員の皆さまには今後ともお一層のご協力、ご支援のほど衷心よりお願い申し上げます。最後に皆さまの益々のご繁栄とご健康をお祈りいたしましてお礼の言葉と致します。

平成十二年七月

『真昼の朝市』フォトストーリー



『真昼の朝市』フォトストーリー

富士町

今回はまんじゅうで
まともてみました。
そばまんじゅう。
白玉まんじゅう。
いろいろあります。



伊万里市



黒沢明グッズがいっぱいです。

激安

鹿島市 →

板のり、お茶、かにつけ、海たけ、
貝柱、羊羹等いろんな物産が並
んでいます。

本日の
おすまい

芦刈町

本日のお勧めは
焼きのり・味付けのり
赤貝の缶詰です。



相知町

すだちが一押しです。
一ついかがですか。
安いですヨ。



面浮立の彫り
物の実演です。



地域の皆さまとともに
ふくおかにも46カ店

このまちで、あなたと
佐賀銀行



『真昼の朝市』フォトストーリー

嬉野町



福岡市佐賀県人会創設五十周年記念事業として開催された「真昼の朝市」に参加させて戴き、佐賀県嬉野町として大変喜ばしく関係各位のご尽力に対し厚くお礼申し上げます。七月にはあまりに暑い日にもかかわらず、大勢のお客様に会場を盛り立て、佐賀をPRするに絶好の機会でありました。嬉野町は福岡都市圏からの観光客誘致を目的に、町内の四名の女性により慣行宣伝隊「茶温陶女大使」をおとめたいし、町を結成、五月から八月末まで毎日通勤して福岡市内へPR活動を展開しています。

今回の朝市には彼女たちも手伝ってもらい売上協力はもちろん、嬉野温泉のPRもしつかり出来たものと自負いたしております。

たまたま、町内出身の方にお会いする機会に恵まれ「嬉野今昔話」ができました。今回の企画は福岡市佐賀県人会の並々ならぬ決意と団結力を見せて戴きました。「佐賀」と「福岡」がより近く、より交流が深まりますように、また県人会が益々発展されるように祈念しお礼と致します。

ふるさとの味

嬉野町観光商工課 課長補佐 一ノ瀬 真



有田町

集客数、チャリティーの成果、来場者の反響から判断してまずは大成功だったと思います。発案者に敬意を表しますと共に関係各位のご苦勞に感謝申し上げます。

客の趣向性の強い伝統工芸品であるワレモノの有田焼の担当となり、展示PRが、在庫売りかたで悩みました。今後は「佐賀県物産展」としてその前日等に前宣伝を兼ねて行う案が浮上、これが定着し、情報センターを含む佐賀県産業会館等設置されれば福岡と佐賀の交流も更に深まる事でしょう。

有田町担当 徳永 淳宏



武雄市

各種煎餅やお菓子類が
所狭しと並んでいます。

焼きたて

で〜す。

Q-SHU
Q-SHU KENSETSU

Since 1894

(総合建設業)

九州建設株式会社

本社 福岡市博多区博多駅南1丁目8番31号
TEL092-461-1100 FAX092-461-1400

事業所 佐賀・長崎・佐世保・筑豊・熊本・大分

取締役会長 辻 長 英
(佐賀県人会 副会長)

取締役社長 辻 長 光
(鹿島市)

『真昼の朝市』フォトストーリー

川副町



竹八漬・有明の珍味・湯っこあげ。
(揚げたてのてんぷらがありますヨ)

多久市

3年前から取り組んだ「漢方野菜」が
話題を呼びました。
岸川饅頭も好評な売れ行きした。

佐賀県

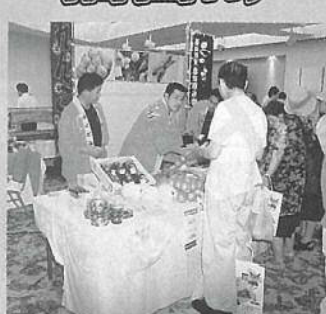
産地直送

です。

県特産物の通信販売を
しています。



福富町



三月の出店協力依頼を受けまして、開催趣
旨・目的に賛同して出店させていただいた
訳ですが、当初の目的以上の成果があった
のではないのでしょうか。
来場者の方には、佐賀の特産品・観光のP
Rはもちろん、佐賀県民とのふれあいを通
じて、「さが」の素晴らしさの再発見をし
ていただけたと思います。
また、私達は毎年福岡市、北九州市で本
町の特産品である蓮根・玉葱・米を中心に
「安全性」と「ふるさとの味」を求める消
費者に対して農産物や加工品の販売とPR
を兼ねたイベントを開催しております。
今後も、福岡市を中心に消費地での販売促
進、PR活動を継続して行っていく計画で
ありますので、来年以降に「真昼の朝市」
が開催されれば、また出店を希望したいと
思います。その時は、よろしくお願いま
す。

福富町産業課振興係
福富町産物直売所担当
石隈 宏文



佐電工営業本部

私達は「安心」を常に心がけ
皆様に信頼していただける「安心」を提供いたします。

設計・施工／電気設備工事(屋内・屋外)、空調・給排水衛生設備工事

株式
会社

佐電工

代表取締役社長 永倉 遵五郎

本 社／佐賀市天神1丁目4番3号 ☎0952(23)4144
福岡支店／福岡市中央区渡辺通り1丁目1番1号 ☎092(713)8025
営業本部／福岡市早良区祖原21番2号 ☎092(821)3033

神埼町

ソーメン・そば・
うどん



背振村

特産の
刺身こんにやく
はいかがですか。



太良町



実行委員の一人として参加し、数回の会議
を重ね、背振村を担当することになり、朝
市の趣旨を認識し、数回役場を訪ねては打
ち合わせをし、手違いの無いように進めて
いきました。
実行委員の打ち合わせの途中で佐賀の好物
として「神埼そうめん」は出さないのかと
いうことになり、隣接の町村として背振村
に販売の委託をお願いし、気持ちよく受け
てくれました。
ところが、神埼町役場側から出しても良い
と言う返事が急にあり、併せて神埼町の担
当をすることになりました。
各市町村の窓口と打ち合わせをするたびに、
担当者の意識が高まっていき、我が市町村
を紹介でき、特産物を販売することによっ
て福岡市民の方々に佐賀の良いところを知
ってもらい、今度は佐賀に直接着てもらい
郷土愛、空気を、自然に触れてもらうこと
で大きな成果を上げれることを期待してい
ます。

背振村・神埼町担当 高島 尚人



よもぎ饅頭・野菜・くだもの。
本日の売り切れ第1号でした。

代販、お疲れさまでした。
完売です。

森内科循環器科医院

院長 もり 泉

〒810-0011

福岡市中央区高砂2-18-12

TEL 092-531-1958

FAX 092-531-9615

『真昼の朝市』フォトストーリー

ミドロード

朝市を二回りして、野点コーナーで休み。あまりの人氣に、お茶菓子が不足気味で担当者が調達に走り回る一幕もありました。さて会場内の本舞台では郷土芸能の面浮立やタヌキ踊りが、又アトラクションとして佐賀県酒造組合から寄贈して戴いた「地酒の利き酒大会」や佐賀米を使った「おにぎりの重量大会」など、多彩なイベントが繰り広げられていました。



タヌキ踊り
ひょうたんにご注目!



鹿島市の面浮立



ひょうたんの由来を聞いて呆然としている広瀬アナ。

「もう二度としたいくない」「きつかっただけだった」など、大きな催しが終わった後、必ず出てくる不満の声です。このようになってはイベントをやる目的がない、五十年も続く福岡市佐賀県人会に泥を塗ることだと最初の企画段階から思っていました。まず、会員の皆さんが楽しんでやる事が成功の秘訣。激論から生まれ出たものは大切に、少々ミスながらも本番ではテーブカットにスピーカーがなく不手際から始まる、この先どうなる事かと不安が横切って行きました。それではと始めたのは、お得意のアドリブ。司会の広橋奈美さんのコンビで乗り切ろうと思っただけであります。やっつけている内に、会員の満足な笑みがこぼれてきました。「成功だ」と確信した時でした。会員の力強い団結で他県の人々を圧倒し、福岡市佐賀県人会の底力を見せつけてくれました。本当にご苦勞様。このような喜びを与えてくれてありがとうございます。皆さんに感謝します。芸能関係担当 北村和秀

お休み処
野点コーナー佐賀市 佐賀牛・米・卵油
マルポーロ・逸口香唐津市 柿漬大根・キムチ・白菜漬
玄海漬や珍味もありました。

超人気



鳥栖市 シューマイ・刃物

塩田町 あやちゃん団子にみそ、
おはぎ。刃物もありました。

呼子・鎮西町

干し魚・いかそーめん。
干物は、すぐに売り切れ
てしまいました。



昭和グループ

代表 金子宜嗣

〒810-0004

福岡市中央区渡辺通り

4-8-28

TEL 092-761-8251

FAX 092-715-2810

(広告協賛会社)

昭和自動車株式会社
福岡トヨタ自動車株式会社
トヨタカローラ福岡株式会社
ネットトヨタ福岡株式会社
昭和商事石油株式会社

福岡昭和タクシー株式会社
トヨタL&F福岡株式会社
(株)トヨタレンタリース福岡
昭和セントラル株式会社

学校法人 筑紫女学園

理事長 井浦 順爾

〈出身地 川副町小々森〉

筑紫女学園大学
筑紫女学園短期大学
筑紫女学園高等学校
筑紫女学園中学校
筑紫女学園短期大学附属幼稚園

福岡県太宰府市石坂2丁目12番1号 〒818-0192

電話 (092)925-3511(代表)

ファックス (092)925-8319

『真昼の朝市』フォトストーリー

チャリティー募金

チャリティー募金を呼びかける
宮副さんと小嶋さん。山崎福岡市長より
ご寄付頂きました。

JAHS

平成12年七月二十六日

人道目的の地雷除去支援の会

理事長 飯田 次

感謝状

福岡市佐賀県人会 殿

貴会にはこのたび、当会の趣旨にご賛同いただき、地雷廃絶のチャリティーキャンペーンを通じて、金二十五万円余のご寄付を賜りました。これはひとえに貴会の社会奉仕の精神の表われと存じます。当会もこのご支援を目にしている国際貢献の形で実現するべく、鋭意努力してまいります。ここに深い感謝と御礼の意を表します。

チャリティー募金で集まった、252,215円をJAHSに贈呈。折り返し感謝状が届きました。

軽い気持ちで引き受けした仕事でしたが、日が経つにつれて重要性を感じ、どうしてもチャリティー募金が集めることが出来るか、アイデアが出ない状況でした。

しかし、宮副様、スタッフの大きな協力にて期待通り出来たかどうかはわかりませんが、無事終了できた充実感を体験させて頂きました事は、今後の何かのプラスになると感じています。

チャリティー担当 小嶋正明



地雷廃絶キャンペーン



プロローグ

午後四時の開店時間が来て、実行委員の顔には安堵感と満足感と達成感が溢れていました。みんな笑っていました。心から笑っていました。誰彼なく手を握りあっていました。大成功でした。お客様として着て頂いた、二〇〇〇名近い福岡市民の皆様へ感謝。

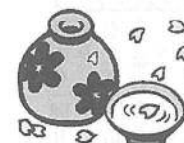
今回の趣旨に賛同して、利益は二の次にして参加して頂いた各市町村と出店業者の皆様へ感謝。さらに、側面からいろいろな広報協力を頂いた新聞・テレビ、又今回の趣旨の環として貴重な資料の展示協力を頂いた「JAHS」に感謝。

そして、福岡と佐賀の大きな架け橋を作る為に手弁当で頑張ってくれた実行委員の皆さんに感謝。二人のオジサンの話から始まった「小さな朝市」の話は、終わってみれば「大きな朝市」に育っていました。

福岡市佐賀県人会
創設五十周年記念「真昼の朝市」
後援 佐賀県観光連盟
STSSサガテレビ
写真提供 ハシモト写真工房
カメラマン 橋本文夫
TAIZOプロジェクト
山田美幸

『真昼の朝市』フォトストーリー

利き酒大会

おめでとうございます。
全部、大当たりです。

あなた、そんなに飲んじゃダメヨ。

大好評

おにぎり重さあて大会



ちょうど、200gです。

日頃、主婦しているかどうか
問われそうです。

スタンプラリー抽選会

お楽しみ抽選会

各市町村や出店業者の
皆様のご圧力で沢山の
賞品が集まりました。
紙面を借りまして、厚く
御礼申し上げます。

抽選景品係として先ずは会の
ネーミングに始まり、最も困難
な集客予測・抽選方法等の決定、
約一五〇〇点に及ぶ景品の受け
入れと配分等々、頭の痛い準備
期間でしたが、朝市当日会場
を埋め尽くされたお客様の楽
しげなお顔を拝見し、久々の
充実感を味わいました。

直接担当の方はもとよりご協
力頂いたすべての方々に厚く御
礼申し上げます。

景品担当 馬場健次

ふるさとと首長

ガタソウ
湯僧の町

ムツゴロウ王国 芦刈



芦刈町 田中 博昭 町長

湯僧！今では余り聞き馴れない呼び名ですが、有明海沿岸の湯泥育ち、粗野で喧嘩早い田舎者と言う意味で、反面負けん気が強く、忍耐力や団結力の強さ等、その氣質から良きにつけ、悪しきにつけ、街の人から一目置かれた存在でした。有明海の最奥部、六角川の河口に位置し穀倉佐賀平野の中核を担う芦刈の大地は、干拓に次ぐ干拓を推し進めた先人達の尊い血と汗で開拓された、謂はば有明海の落し子です。そして母なる海はムツゴロウをはじめ、この海特有の珍しい魚介類が、村人の大切な生活の糧となり暮らしを支えた、文字通り宝の海です。有明海との共生！それが我が町の歴史であり湯僧の名の所以でありませう。

二十一世紀は地方の時代！大競争の時代と言われます。個性豊かな活力ある地域づくり愛着と誇りの持てる御里づくり……我が町は有明海の珍魚ムツゴロウが群れ遊ぶ芦刈海岸を町の看板にして「生活と自然を大切に」するムツゴロウ王国を宣言！宝の海有明海、先人が築き上げた肥沃な大地と、伝統文化をしっかりと承継ぐ、更に二十一世紀に向けて大きくジャンプすべく、湯僧を自負する若い町づくり集団が、現代の知恵と技術を活かし夫々の夢に元氣一杯チャレンジする町、ムツゴロウ王国「芦刈」です。

ふるさと紹介

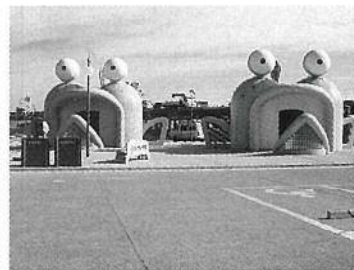
芦刈町

芦刈町は、佐賀県のほぼ中央、佐賀平野の南部、有明海の最奥部に位置し、県都佐賀市から西へ十二キロメートル長崎自動車道佐賀大和インターチェンジから十八キロメートル、佐賀空港から十八キロメートルの距離にある。人口は、六千五百九十六人（平成十二年六月一日現在）。町域の大部分が中世以降の干拓からなる平坦な土地である。肥沃な大地に、米麦及び施設野菜を中心とした農業と、日本一を誇る佐賀ノリ及びモ貝養殖との組み合わせによる周年漁業体制が確立している。

一方、有明海は満潮と干潮の時の海面の差が日本で最大の六メートル以上もあり特殊な自然環境と不思議な生き物が無数に生息している日本のどこにもない個性的な海である。昔から有明海の干潟に生息しているムツゴロウやシオマネキなどは乱獲等により一時期絶滅寸前まで減少したが、芦刈海岸の約四、五キロメートルを世界で唯一ムツゴロウ、シオマネキの保護区に指定し

海遊ふれあいパーク
芦刈町

当パークは干潟ゾーンと海面ゾーンからなり、干潟ゾー



海遊ふれあいパーク



芦刈海岸

自然観察が楽しめる
芦刈海岸

芦刈海岸に世界中で一ヶ所のムツゴロウ・シオマネキの保護区を設けたため、絶滅寸前まで減少したムツゴロウも今では回復しユーモラスな姿を間近で見ることができ、自然観察が楽しめる海岸として団体ツアーやカメラマン等が県内外から押し寄せちよつとした観光地になっています。

ンは東屋、ムツゴロウモニュメント、ムツゴロウ型トイレ海面ゾーンはメインに「沖ノ島」をイメージした照明灯を設置し有明海をテーマとした公園となっている。シーズンを通し干潟のムツゴロウ、シオマネキのウオッチングに訪れる人の憩いの場となっている。

『真昼の朝市』 景品等提供者

- 芦刈町
 - 嬉野町
 - 鹿島市
 - 神崎町
 - 佐賀県観光課
 - 脊振村
 - 多久市
 - 武雄市
 - 太良町
 - 鳥栖市
 - 七山村
 - 浜玉町
 - 福富町
 - 天山酒造
 - 昭和自動車
 - 大原老舗
 - 深川製磁
 - 香蘭社
 - 岩尾磁器工業
 - 博多座
 - ツルカメ漢方
 - 無津呂商店
 - 呼子町・川崎様
 - 小城羊羹組合
 - 嬉野町・三根製茶
 - 太田製菓
 - 川副町・湯や本舗
 - (株)竹八
 - 神崎町・井上製麺
 - 玄海漬(株)
 - うなぎの黒田屋
 - 唐津市・鶴商店
 - 武雄・恵比寿堂
 - 有田・賞美堂本店
 - 京阪神不動産
 - 多久市・株谷口
 - 黒澤明記念館
 - 西日本新聞広告社
 - 風本水産
 - オリーゼ本舗
 - このめ園
 - 小城町・稲松裕治様
 - 大和町
- その他会員の皆様より多数の景品をご提供頂きました。

実行委員名簿

- *委員長および財務部
- 委員長 山下 廣人 代表理事
- 古賀 利治 監事
- 久保 悦次 監事
- *総会総合本部
- 太田 勇吉 常任理事
- 落合 良太 理事
- 井上 浩輔 理事
- 実法院 強 会員
- 小島 郁子 会員
- 大串 安弘 会員
- 宮副 博昭 会員
- 小嶋 正明 会員
- 江口 洋一 会員
- 真海 正雄 会員
- *朝市運営本部
- 田中 則雄 常任理事
- 清村 克行 理事
- 沢村 利次 理事
- 小松 省己 理事
- 宮添 悦雄 会員
- 田中丸真輝 会員
- 西村 琢磨 会員
- 菅原 光子 会員
- 高島 尚人 会員
- 林谷 誠 会員
- 貞方 弘道 会員
- 田川きよみ 会員
- 南川 武夫 会員
- 徳永 純宏 会員
- 嘉村 博 会員
- 松金 恒雄 会員
- 田中 陽一 会員
- *会場運営本部
- 田中 秀男 常任理事
- 水間 繁俊 理事
- 前田 文敏 理事
- 井上 説蔵 会員
- 岡 八重子 会員
- 馬場 健次 会員
- 田中智恵美 会員
- 松瀬 久子 会員
- 北村 和秀 会員
- 西川 芳泉 会員

ご報告

- 一、平成十一年度
業務報告
- 一、平成十一年度
収支決算報告書
- 一、平成十二年度
収支予算(案)
- 以上三議案は総会会場において満場一致で承認いただきました。
- ご報告いたします。



武雄温泉新館を改築

老朽化で一部が崩壊している県重要文化財の武雄温泉新館が、全面解体の上、復元されることになった。県と武雄市が平成十二年度予定に修復事業費の補助金を計上し、三年後には建設当時の姿に蘇らせる。



大隈記念館の収蔵庫からみつかった落書きのある杉板

るまれていた。勉強部屋は弘化元（一八四四）年、藩校に進む八太郎（大隈の幼名）のため、改築したと記録にある。ほかに北海道開拓に尽くした島義男が大隈あてに銀のレートを早く定めるように求めた書簡なども出てきた。



復元されることが決まった

武雄温泉新館

新館は武雄温泉のシンボル「楼門」とともに、日本の近代建設界の第一人者辰野金吾博士（唐津市出身）が設計。一九一四（大正三）年に着工、翌年完成した。木造二階建てで延べ五百九十平方メートル。八角形の大浴場二カ所がある。辰野博士の数少ない木造建築物の一つであるが、大浴場の屋根が壊れ落ちるなど傷みがひどい。修復費は二億九千八百万円、武雄温泉が全体の八分の二を、県と市が八分の三ずつを負担する。

鹿島市で潟開き

「ガタリンピック」のホームグラウンド、鹿島市の七浦海浜スポーツ公園で四月十九日、「潟開き」があり、福岡県の中学生在潟開きに入り、全身泥まみれになりながら歓声を上げていた。

干潟体験の今シーズン第一号は、昨年に続いて福岡県宇美町の宇美中一年生百九十九人、安全祈願祭のあと、関係者が見守る中、生徒代表の岩崎祥晃君と南里希希さんが「二歩」を踏み入れた。このあと、生徒たちは小雨の中、潟スキーや綱引きなどを楽しんだ。頭のとっぺんからつま先まで泥だらけになった高取真人君は「ヌルヌルしているけど、気持ちいいよ」と、初めての体験に笑顔を見せた。

今シーズン、県外の中学生を中心に昨年より三千人多い一万人が同公園での干潟体験を予定している。



全身泥まみれになり干潟を
楽しむ中学生



本欄のニュース、写真は
佐賀新聞社より提供した
きました。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

博多座10月公演

「雪国」

製作＝東宝

10月1日▶24日

観劇料：A席 12,600円
B席 7,560円
C席 3,570円



8月19日(土) 窓口発売 開始

ご観劇券のご購入方法

博多座チケット売場

博多座2階広場の正面にございます

博多座電話予約センター

☎092-263-5555

地下鉄「中洲川端駅」7番出口直結
〒812-0615 福岡市博多区下川端町2-1



「端切れ」が人気

鳥栖の久光製菓（中富博隆社長）の主力商品「サロンパス」の製造工程で出る端切れが、ナシなどの枝を結ぶひもに最適と農家に好評だ。「サロンパス」の原料はゴムや薬草など自然素材だから放置していても害にならない。農家は「作業が軽減できる」と喜び、同製菓も「捨てれば産業廃棄物として処理費に年間約四百万円かかる」と言い、有効活用を積極的。

「サロンパス」はスフにゴムと薬剤を粘着させる方法で、一日八キロ（幅八十六センチ）も生産。幅四センチの端切れが同様に十八キロも出る。以前は大半を焼却していたが、十数年前から果樹農家に引き取られるようになった。ナシの産地・伊万里市のJA大川町によると、ナシを棚立てする際のひもに最適で、もろくなって切れても問題がないという。

もみ殻から食器

唐津市佐志の生ごみ処理機販売業「アイ・ビー・ビー」（大森武光社長）はもみ殻など植物繊維を原料にした使い捨て食器と製造設備の販売を始めた。



もみ殻などを原料にした使い捨て食器

食器はもみ殻九〇％に焼酎かす、ミカンの絞りかすなどを混ぜて粉碎し、特殊粘着剤で固めて成型する。中国で開発された技術で、現在、トレーやコップ、どんぶり、スプーン、はしなどを輸入。昨年は熊本県に開通して納入した実績がある。十五〇度までの耐熱性があり、「埋めれば微生物が分解し、焼却しても有毒ガスは出さない」という。販売価格はコップ、皿が十円、どんぶりが十三円。設備一式は一億五千万円。問い合わせは 電話0955(75)29917

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

エネパーク開館

九州電力が同社玄海原子力発電所（東松浦郡玄海町）に建設していた新しい展示館「玄海エネルギーパーク」が完成。三月三十一日正式にオープンした。

以前の展示館が建設後二十七年を経過、設備が古くなり、スペースも手狭になったことから総事業費九十九億円をかけて新設した。

地上四階、地下一階建てで、延べ床面積は九千七百平方メートル。内部は中央に日本初の実物大原子炉模型（高さ十三メートル、外径五メートル）と配し、らせん状に原研関係の資料が展示されている。九州の伝統工芸品や祭りを紹介するふるさと館もあり、博多山笠の昇き山笠も飾られている。

「逆風」の中の開館となったが、九電では「まず見てもらい、原子力やエネルギーを考える材料にしてほしい」と言っている。



大隈侯の落書き?

佐賀市水ヶ江の大隈記念館の収蔵庫から、大隈重信（一八三八―一九二二年）が描いたと思われる古い板切れが見つかった。大隈はほとんど書を書かず、絵も残っていないため、関係者は「子どものころの作品としても貴重だ」としている。

落書きは長さ一・八メートル、幅十八センチの杉板に、墨で馬や鳥帽子をかぶった男、オランダ人らしい西洋人、武者などが画面に描かれている。

昭和四十二年の生家改築の際、勉強部屋の屋根裏から出てきたと言われており、「大切に保存」と注意書きした紙にく



開館した九電の新展示館「エネルギーパーク」

九州三大銘菓

かきん 饅頭

太田製菓株式会社

福岡市南区屋形原1丁目35-24

(3,000円以上お買い上げの方は、送料無料)

甘さ控え目のこし餡に
きめ細やかで歯切れの良い皮

白玉饅頭

TEL 092-566-2816

FAX 092-566-2540

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	郵便番号	住 所 (自宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
石隈 勝				農林中金	福富町
久富忠泰					佐賀市
倉富 康				スナックバーアートビバン	多久市
山田尚美				(有) 銀月堂菓子舗	三根町
松瀬富也				株木建設(株)	脊振村
鶴丸和良				三井建設(株)	佐賀市
緒方一利				オリーゼ本舗	浜玉町
宮添悦雄				福岡県企業振興公社	相知町
前田泰朋				宝生商事(株)	武雄市
石寄信夫				(株) 九電工	唐津市
宮原昭元				(株) 昭和公研	武雄市
無津呂繁憲				(有) 無津呂商店	富士町
竹田幸人				自 営	呼子町
高木利恵子				(有) プロネット	伊万里市
井崎博子				安田生命保険(相)	武雄市
田中伸子					多久市
加藤麗子					大和町
山口 幸				(有) プロネット	伊万里市
西岡将臣				太平商工(株)	唐津市
宮崎昭雄					嬉野町
橋口俊光				千日電設(株)福岡支店	嬉野町
権藤和彦				(株) エボクティエース	鳥栖市
日浦和子				味ごろも日浦	呼子町
藤城玲子					佐賀市
増田和昭				(株) 九建設設計福岡事務所	神埼町
古里幸昭					鎮西町

会報むつごろ

平成12年8月31日発行
 福岡市佐賀県人会
 (発行責任者 田中 秀男)
 福岡市中央区大手門2-3-7
 昭和商事石油株式会社
 ☎ 092-714-3111
 制作 有限会社タナカ
 ☎ 0955-23-5214

佐賀県人会創設五十周年記念「真昼の朝市」も盛況のうちに終ることが出来ました。佐賀県人会、にありの有意義な楽しい一日でした。実行委員の皆様はじめて協力くださった皆さん本当におつかれ様でした。

「むつごろ」41号は特集号を組みました。編集については、大串安弘さん、水間繁俊さん、井上浩輔さんにご協力いただきました。本当にありがとうございます。

「佐賀県だより」の記事、写真については、佐賀新聞社から提供いただきました。

ご協力ありがとうございます。

(T)

編集デスク